

ペレットストーブ
取扱説明書
A7 GLOBE/A9 STONE

MORETTIDESIGN
— GRUPPO — FUTURE IS NOW

目次

はじめに.....	1
01-取り付け・設置を行う方へ	2
02-ご使用方法.....	5
03-安全装置.....	7
04-設置時の安全離隔距離.....	8
05-その他接続.....	8
06-第一点火.....	8
07-操作機能に関して	9
08-燃焼に関して.....	10
09-リモコン表示.....	11
10-コントロールユニット.....	18
11-エラー.....	19
12-排気煙ソフトウェア	20
13-メンテナンス.....	20
14-保証.....	21

はじめに

ペレットストーブは、木質ペレットの燃焼により空気を暖める暖房機です。燃料は自動で供給されます。室内の空気が燃焼での炎によって暖められて、送風機によって室内を循環します。モレッティ社の全ての製品は、CE 認定によって安全な品質が保証されており、全ての機能とパラメーターを管理しています。また、最新ソフトウェアによって、使用者のために暖房機能の操作をよりシンプルに分かりやすくしています。

全てのモレッティ社製品は、温度調節機能によってストーブのオン/オフを自動で切り替えることができます。また、使用者が頻繁にタンクを補充しなくてもいいように、ペレットタンクは大きく、またタンクから燃焼室へは自動で供給するようになっています。

週に一回は溜まった灰を取り除いてください。

- ・燃焼室に直接ペレットを入れないでください。
- ・起動中にドアを開けないでください。
- ・小さいお子様が本体を触らないように気を付けて下さい。

01-取り付け・設置を行う方へ

ストーブ本体は十分な負荷容量のある床に置いて下さい。建物が要件を満たしていない場合、適切な措置(例えば負荷分散板)を取らなければなりません。ストーブをご使用される際には、燃焼室および煙突を掃除していくことが必要となります。同様のストーブを一部屋で使用する場合、排気ファンにおいて問題が生じる可能性があります。また、ストーブを小さな部屋や可燃性の環境に設置することは禁止されています。

梱包: 配達時にはストーブは梱包されております。鋼板製の場合はトップ・サイドカバーが組み立てられた状態ですが、陶器製の場合は別々に梱包しております。取扱説明書と電源ケーブルはペレットタンクの中に格納しております。

開封: ストーブを開封する際は、梱包の紐を切って箱を外してください。

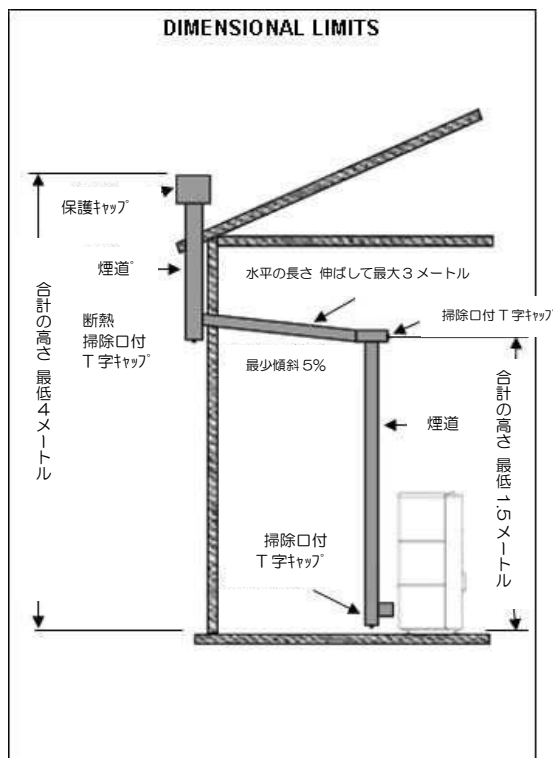
組み立て: ストーブの取り付けの際には、購入先の販売店へ連絡して下さい。(それ以外の場合は保証の対象外となります)

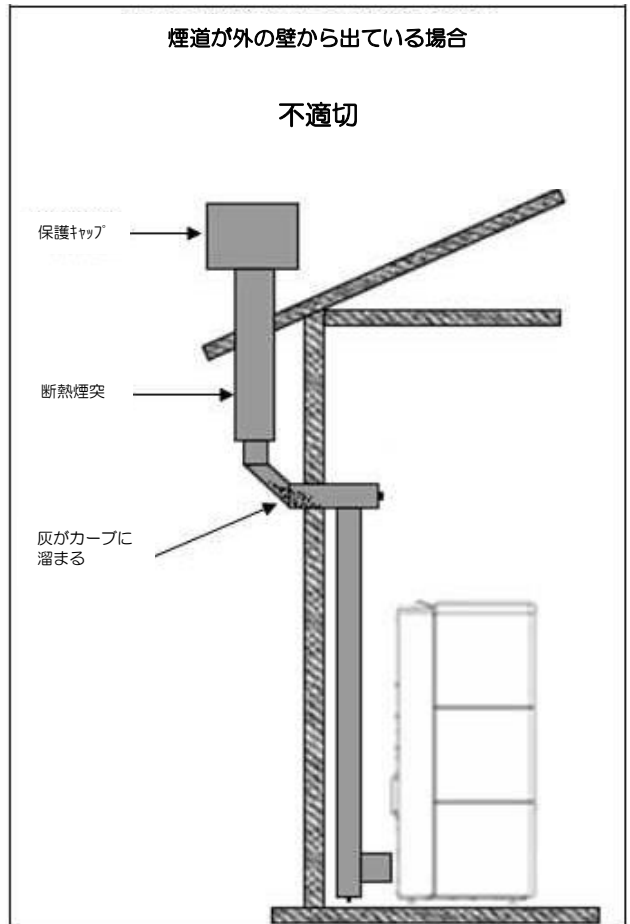
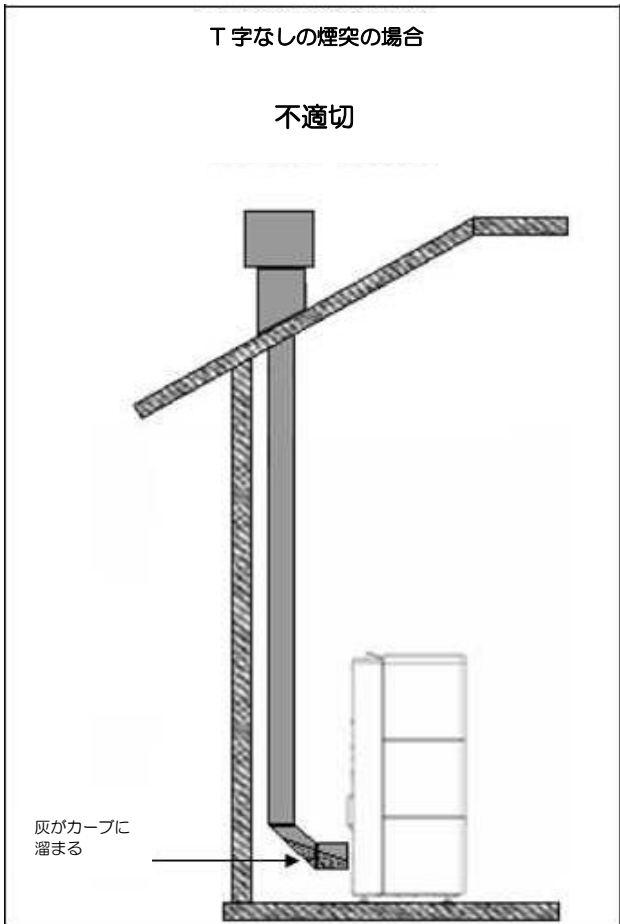
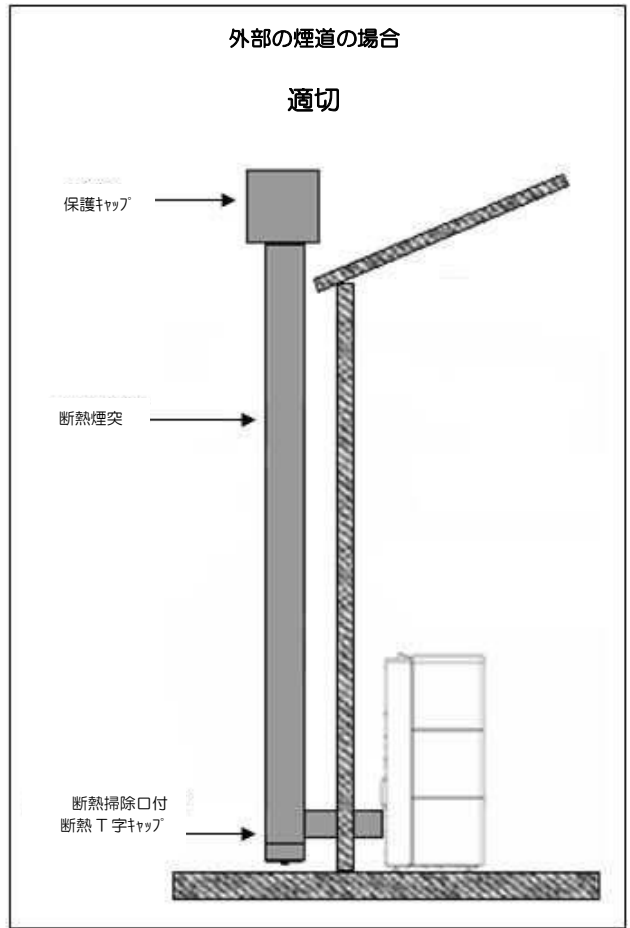
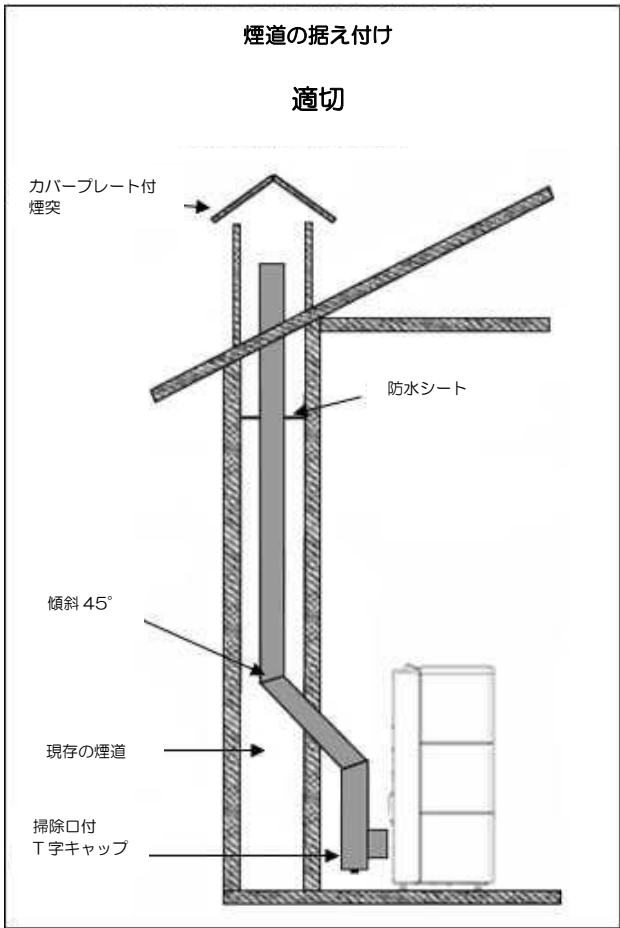
排気ガス: 排気ガスを外へ抜くために、標準規定に従って煙突を設置しなければなりません。他の器具との煙突の共有はおやめください。

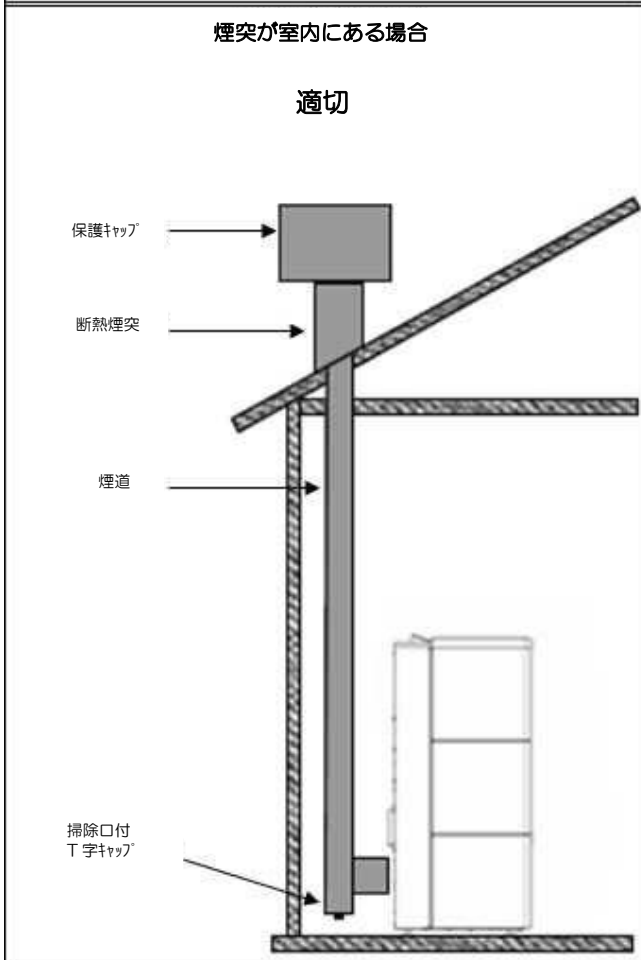
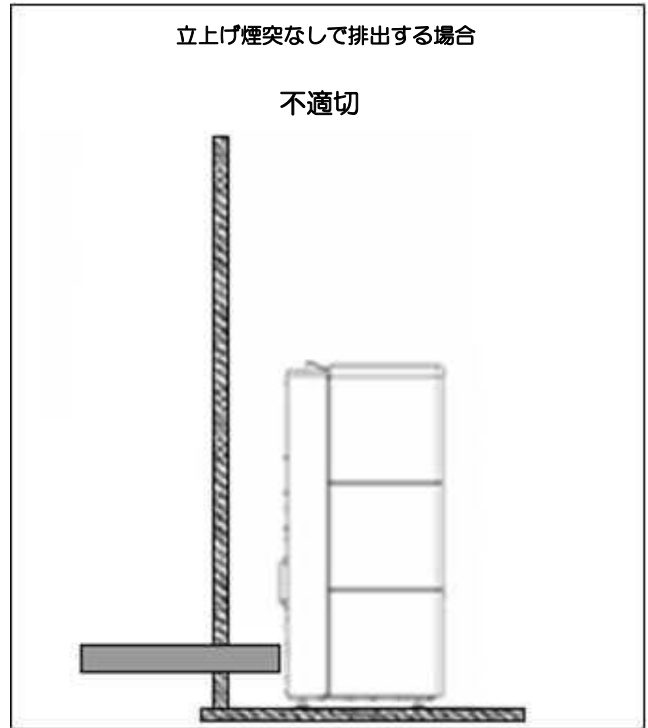
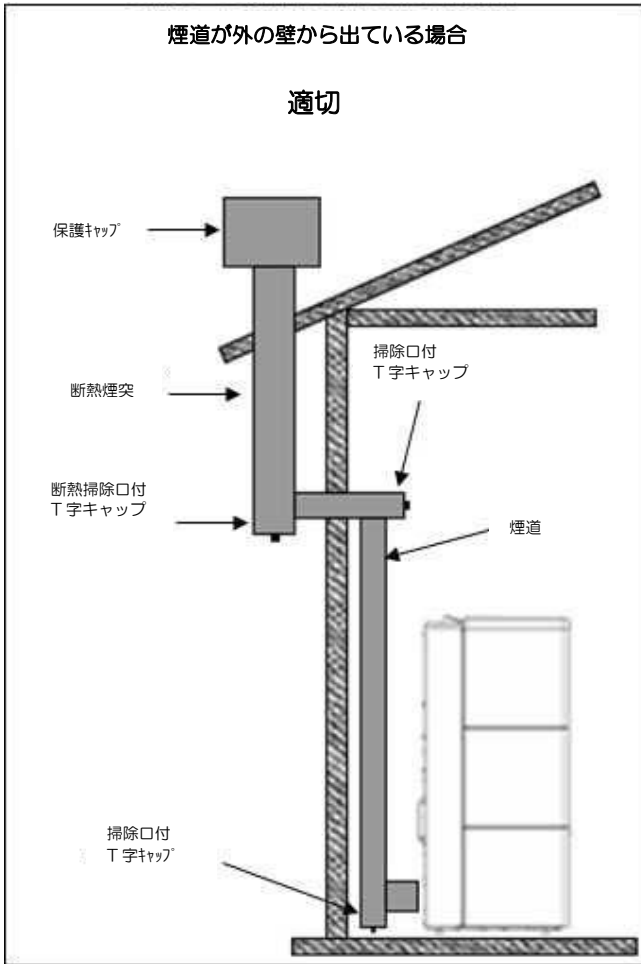
燃焼空気: 燃焼には空気が必要です。その空気は燃焼ポットの下の給気口から取り込まれます。空気が十分に取れないと悪い燃焼が起こり、室内の空気の悪循環を引き起こします。この問題は、扉や窓が締め切られている現代の高気密住宅では頻繁に発生します。逆に、室内に空気の流れ(例えば通風機など)がある場合、状況はより問題となります。このような問題を回避するために、窓の上またはストーブの近くに室外吸気を取り付けることをお勧めします。

強制給排気式: 壁に穴を開けて、そこから室内へ燃焼空気を入れます。これは衛生面と安全面から必要です。必ず格子のついた穴から空気を入れてください。格子は綺麗にしておいてください。

排管設置例







危険

- 排気管は標準の規定にそって取り付けてください
- 鋼の管をご使用ください。アルミニウムや合成材料のものは使用しないでください
- 十分な空気供給を保証するため、給気管は 2m 以下で、曲りの箇所は 3 つ以下にしてください
- ゴミが建物の外に出る際には、末端の部分は 90 度の角度で下へ曲げなければなりません。また、風から守らなければなりません
- 吸い込む最少空気は 10Pa である必要があります

煙突への接続

- 排気管の出口が煙突の中の空間を塞がないようにしながら、既存の暖炉の煙突にストーブ本体からの排気管を接続します。
- 密閉できるパッキン付きの排気管をご使用ください。
- 平行部分(長さ最大で2メートルまで)と湾曲部の取り付けはできるだけ少なくしてください。

※ 排気管を煙突の中にあまり深く差し込まないでください。

屋根の上に突き出た部分の煙突

- 屋根の上に出た煙突部分は、次の条件を満たす必要があります。
- ✓ 煙突内部断面は暖炉部分のものと同様であること。
- ✓ 暖炉の中に雨・雪・関係のない物が落ちてこないように作られていること、また、どの方向から風が入っても確実に排煙できる屋根の勾配であること。
- ✓ 煙がほどよく分散し希釈されるように設置されていて、反圧力の形成されやすい煙の流れる範囲の外にあるようにすること。その範囲は、屋根の勾配の角度に応じて異なる寸法と構造であること、そのため、(屋根は)適切な最低の高さに合わせる必要があります。

02-ご使用方法

重要な注意事項

- この取扱説明書の各内容をよく読み、十分にご理解ください。内容をよく読まず理解しないままご使用になると、本製品を「誤った方法で使用した」とみなします。ここに明確に説明されている使用方法でのみ本製品をお使いください。(ここに書かれていない)他の使用法は適切ではなく、危険な結果を招く可能性があります。
- この取扱説明書は大切に保管し、必要な時はいつでもご利用できるようにしてください。取扱説明書は本製品の一部ですので、所有者が変わる場合は必ず一緒にお渡しください。
- 本製品を焼却炉として使用しないでください。
- 本製品は、内部も外部も表面部分の温度が非常に高くなる箇所があり、そこにうっかり触れてしまう可能性がありますので、最大に注意を払ってください。
- 燃焼室ドアのガラス部分には絶対に触らないでください。やけどをする危険があります。
- 安全のため、(幼児を含む)ストーブの使用に不慣れな人、経験の乏しい人はお使いにならないでください。
- ストーブ全体で、熱くなる表面との熱交換が活発に行われますので、子供や障害のある方、ペットなどが直接触れないように十分注意する必要があります。
- 燃焼室ドアを開ける際は、やけどをしないためにストーブ用手袋などをお使いください。
- ストーブを正しくお使いになるには、必ず燃焼室ドアを閉めた状態でご使用ください。ドアが破損したり、ひび割れたりして異常が起きた場合、ストーブは使えません。
- 故障や運転の具合が悪くなった場合、電源を切り運転を停止してください。
- 修理や部品交換が必要な場合、購入先の販売店にご依頼ください。純正部品との交換が必要です。
- 販売店以外による、本ストーブの分解・改良は禁止されています。
- 給気口や熱排出口を塞がないでください。
- 本ストーブを、何かの支えや脚立の代わりに使用しないでください。

- ペレットを燃焼ポットの中に直接入れないでください。
- 木質ペレット以外の燃料をタンクの中に入れしないでください。
- 電化製品なので、濡れた手でストーブに触らないでください。
- 可燃物からは安全に十分な距離を離し、「排管設置例」の説明に従って設置してください。

燃料

- 下図に示す質のペレット燃料をお使いください。

良質の木質ペレット -高級ペレットの特徴-

発熱能力	kWh/kg	4.8÷5.2
密度	Kg/m ³	650
水分含有量	%	Max 8%(ペレット重量の)
灰の割合	%	Max 1%(ペレット重量の)
直径	mm	5-6.5
長さ	mm	20-30
含有物(内容)		100%未加工木材

- 次のような固体燃料の使用は許可されていません。藁、トウモロコシ、果実等の芯部分、松かさ、上記に記載されているもの以外。「高級ペレットの特徴」の表を参考に、品質が保証されたペレット燃料を販売店へご注文くださるようお願いいたします。

ペレットに関する知識

- ペレットは、製材所や木材加工所の間伐材・おが屑・かなな屑・木屑などから作られます。このような原材料を粉砕・乾燥・圧縮し、接着材等を一切使用せずに燃料のペレットが作られます。

ペレットの保存方法

- ペレット燃料は乾燥した清潔な場所で保管してください。ペレット燃料が湿ると完璧な燃焼を保証できません。

本体を作動させる

- 本体を作動させるには、まず組み立てと排気管の接続を完了させなければいけません。新品のストーブの場合は、最初の点火後に仕上げの塗料の臭いがする場合がありますので、注意して次の手順に従ってください。
 - ー 運転開始の段階で、本体から不快と感じられる臭いを発生する可能性があります。この臭いを取り除くために、部屋の窓を開けて風を通してください。
 - ー ストーブの塗料が完全に乾いたら、加熱の段階になります。

燃料の補充

- 燃料を補充する際には十分に注意してください。ストーブの熱くなっている部分に、ペレットのビニール袋が触れないようにしてください。袋の切れ端や異物が燃料タンクの中に入らないようにご注意ください。燃料タンクにペレット以外のものが入ると燃料供給スクリューに詰まり込み動かなくなる可能性があります。
- 上蓋を取り外し、ペレットを高い位置から入れてください。ストーブが運転中の場合には、火傷をしないように手袋などをお使いください。燃料不足が原因でうっかり炎が消えてしまわないように、タンクの中のペレット残量を頻繁に点検することをお勧めします。タンクの蓋は燃料補充の時以外、常に閉まっている状態にしてください。

基本的な注意事項

- メンテナンス作業を行う前に、必ずストーブを消して室温に下がるまでお待ちください。
- 背面部の電源スイッチを消した後で、電源プラグを抜いて下さい。
- 運転中に急にストーブのプラグを抜いたり、背面部の電源スイッチを押したりしないでください。このような操作は排煙モーターを含む全てのモーターを同時に停止させ、ストーブ内部の排煙を妨げることになり危険です。

03-安全装置

排気ファンの破損

何らかの原因でファンが壊れ安全装置が作動した場合、ペレット供給が止まり、アラームが点灯し、ストーブの機能が停止します。

オーガーマーターの破損

オーガーマーターのペレット供給が停止した場合、システムは最低限のレベルで機能し続けた後、アラームが点灯し、ストーブが停止します。

温風ファンの破損

温風ファンが停止した場合、アラームが点灯し、システムが停止します。

点火の失敗

点火が失敗した場合、安全モードになりシステムが停止します。点火ヒーターと燃焼ポットが綺麗か、きちんと取り付けがされているか確認して下さい。再度点火を行い、それでも点火しない場合は販売店までお問合せ下さい。

燃焼ポット内が掃除されていない場合、次の点火で燃焼室内の爆発を引き起こす可能性があります。

支障が生じた場合、製造業者は人・動物・物への損害に対して一切の責任を負うことはありません。そして、煙突火災を見つけた場合は、直ちに消防隊を呼んでください。

電気保護

システムは 2.5A のヒューズで保護されており、ストーブ本体後ろに配置されています。

交換するためには、電源から電源ケーブルを外した後、スイッチの隣のトレイを取り出し、壊れたヒューズを交換し、トレイを再度挿入してください。新しいヒューズが再度すぐに壊れた場合は、販売店までお問い合わせください。

排煙の安全性

排煙が正常に行われていない場合、アラームが点灯し、システムが停止します。

ペレットの安全

ペレットタンク内の温度が安全レベルを超えた場合、システムが停止します。回復は自動的に行われますが、購入された販売店へご連絡ください。

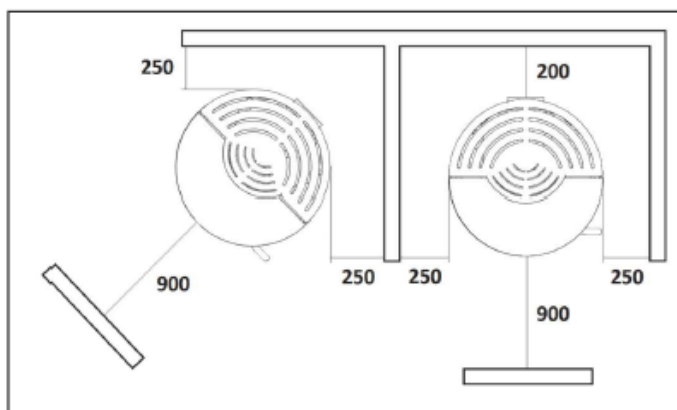
電源障害

停電などによる短い電源障害があった場合、システムはブロック状態になります。電力欠如が短時間ではない場合は、少量ではありますがストーブの煙が部屋に入る可能性があります。

これは、煙道の通り道に問題がある場合や、いくらかの危険を避けられなかったことにより生じます。電源が復帰したときに、システムが自動的にオフになります。

04-設置時の安全離隔距離

ストーブと十分な距離をとってください。



05-その他接続

室内サーモスタット On/Off の電圧との接続を行います。

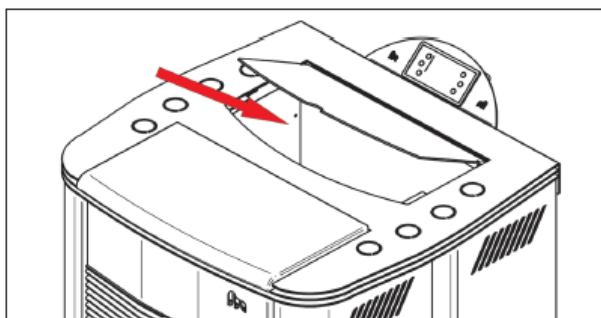
06-第一点火

最初の点火はシステムの全体的な検査をする必要があるため、購入先の販売店によって行ってください。

ペレット投入

木質ペレットを燃料タンクへ補充してください。

蓋を開けて、燃料を注ぎます。燃料タンクはモデルに応じて 15kg から 30kg の容量があり、ペレット供給のオーガーと手との事故を防ぐために、タンク内部に安全柵が取り付けられています。



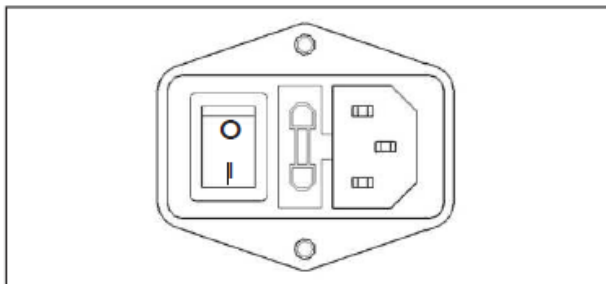
いかなる理由においても、燃料タンク内部の安全柵は取り外さないでください

木質ペレットは、直径 5-6.5mm で長さ 30mm 以内のものを使用してください

注意:タンク補充前に、タンク内に燃料以外のものが入っていないことを確認してください

点火モード

ストーブ背面の電源スイッチが”I”の位置に接続されていることを確認してください。



LOADING 機能を使用してオーガーをペレットで満たしてください。点火時または通常の燃焼時も燃焼室のドアは閉めた状態にしてください。

07-操作機能に関して

Check Up(状態確認)

P1 ボタンを押してストーブの燃焼をオンにすると開始されます。システムにより最大速度で排気ファンが回転し、同時に温度検知器と安全装置をチェックし、バーナーのクリーニング処理を行います。

Ignition(点火)

CheckUp が完了すると、点火の段階へ進みます。オーガーにより燃焼室へペレットを供給し、点火ヒーターが作動します。このシステムは燃焼が始まるまで待機し、その後、煙の温度を上げるために少量のペレット投入を開始します。

Run Mode(運転)

点火の後、システムは Run Mode に入ります。この段階では温風ファンが起動され、システムは設定された燃焼出力で動作します。

Modulation(調整)

Run Mode 中に設定された室温に達した時、システムは燃焼を調整する段階となり、燃料消費量が最少となり、ファンも最低速度で動作するようになります。

Combustion power setting(燃焼出力設定)

Run Mode モードにおいて、燃料出力を変更することが可能となっています。設定可能な出力範囲は 1 から 5 となっています。出力を増加させると、それに比例してペレットの消費量と温風ファンの回転も増加します。

Note:破損や故障の場合には、ストーブをオフにしてください。

08-燃焼に関して

燃焼は、燃料のペレットと空気を点火での化学反応により結合させ、熱を発生させることです。適切な比率で燃料の投入を行うことで燃焼を起こさせることができます。

[例 1]



【よい例】燃焼ポットの中で少量のペレットを消費し、炎が鮮やかな黄色または白色となります。

設定数値を変更する必要はありません。

[例 2]



【よくない例】炎の高さは高いが弱く、オレンジ色の炎となっており、また未燃ペレットが燃焼ポットの中に残っています。ペレットの量に対して、空気量が少ない状態です。

・まず燃焼部正面のドアと灰受け皿が正しく閉じられている状態か確認します。その後、Calibrationメニューの Fan Calibration を使って、ファンの回転の設定数値(0 から 5)を増やします。

[例 3]



【よくない例】炎が伸びて、大量の燃料ペレットが燃焼ポットの外へ飛ばされます。ペレットの量に対して、空気量が多い状態です。

・ファンの回転の設定数値(0 から-5)を減らします。それでも十分でなければ、上記の[例 1]の状態になるまで、オーガの設定数値(0 から 5)を増やします。

こちらで例を 3 つ上げておりますが、実際調整を行ってどう燃焼が変化するかそれぞれご検証下さい。

Note:パラメーターを編集する時の数値は、デフォルトの数値に対するパーセント値を指します。(主に Run mode と Modulation)

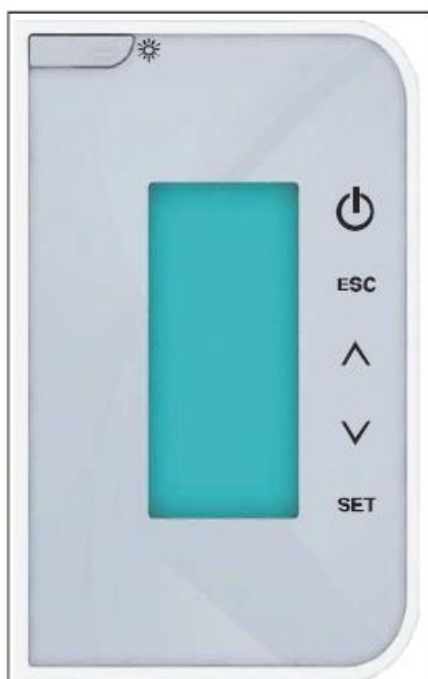
09-リモコン表示

このリモコンは、本体と無線で接続し、リアルタイムでシステム動作機能を確認・制御することが可能です。

主な特徴：

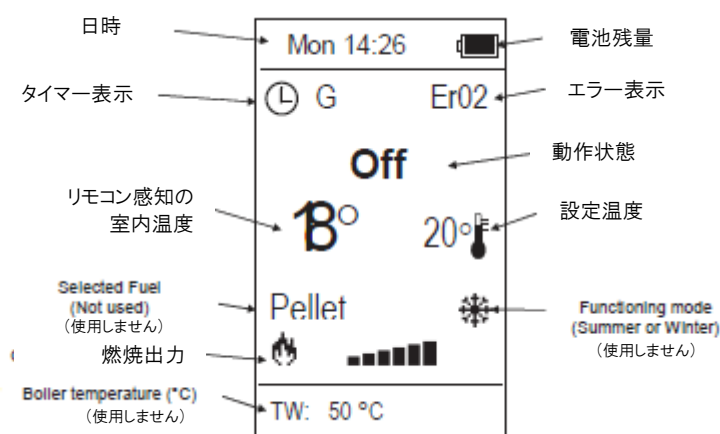
- ・電池使用
- ・室内温度感知あり
- ・ストーブの運転内容の制御






注意：システムは、433.92Mhz の ISM 無線地帯の周波数を使用して動作します。デバイスの使用範囲が混線しているワイヤレスヘッドフォンやビデオのような他の機器があるとシステムの性能に影響を与える可能性があります。このような機器があるかを確認し、それらをオフにするか、他の機器の使用を制限する必要があります。ストーブと複数のリモコンの相互接続を行う場合には、特定のストーブと各リモコンを関連づける必要があります。（「Test Radio」を参照）



☀ ボタンを押すとライトがついて、

メイン画面が表示されます。



ボタン	機能	説明
	スリープモード	メイン画面の状態ですと、リモコン自体は機能したまま、電池消費量を軽減できるスリープ状態になります。リモコン画面を再度付けるためには、もう一度  を押します
	スタンバイモード	メイン画面で約 3 秒長押しすると、画面が消え電池の消費量を抑えることができます。この機能は主にリモコンを使用されていない時に使用します。再びオンにするには、ボタンをもう一度押し、  ボタンを 2 回押します
	オン / オフ	3 秒間長押しすることで、電源オン・オフを行います
	ブロック解除	3 秒間長押しすることで、システムのブロック解除を行います
ESC	Esc	メニューへ戻る
	出力設定	メニューにない出力設定
	スクロールメニューとサブメニュー	メニューまたはサブメニューをスクロールし、値の増減を行います
SET	Set	サブメニューへ入る・値の変更・データの保存

動作状態として、以下の文字が表示されます。

・Off(オフ)、Check Up(点火前チェック)、Ignition(点火)、Stabilization(安定)、Run Mode(通常燃焼)、Modulation(調整)、Standby(スタンバイ)、Safety(安全)、Turn-Off(消火)、Block(ブロック・エラー)、Ignition Recover(再点火)

他メッセージ表示:

Sond:センサー異常。このメッセージは調査段階に表示され、温度が最低値(0°)または最高値と等しいことを表しています。センサーが切り離されていないか確認して下さい。もしくは、ショートしています。


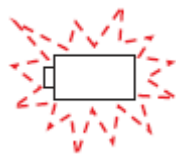


Serv:このメッセージは機能時間の予定達成を表しています。購入先の販売店へ連絡して下さい。

Clean:このメッセージは機能時間の予定達成を表しています。ストーブを修理する必要があります。

Block-Ignition:点火段階(ペレットのプリロード後)で、システムを手動でオフにされていない場合、このメッセージが表示されます。ストーブが通常モードになった 1 回のみ、スイッチが切れます。

Transfer Failed:ストーブへの送信が失敗した場合、「Transfer Failed(送信に失敗しました)」とメッセージが表示されます。この場合、再度送信処理を繰り返します。

電池表示

	電池が十分にあります		電池残量がありません。 早めに交換して下さい
	電池残量が 3 分の 2 です		
	電池残量が 3 分の 1 です		

メニュー

リモコンのメニューへ入って、SET ボタンを押して下さい。サブメニューが表示されます。新しい設定値を記憶する際、ストーブへ新しい値が送信されます。

メニュー		説明
Thermostats	Radio Room Thermostat	温度の設定を行います
Hot Air		温風ファンの作動の設定を行います
Chrono		タイマーの設定を行います
Eco Clima		室内設定温度に達した際の、自動消火・着火の設定を行います。
Calibration	Auger Calibration	システムの燃焼パラメーターの設定を行います
	Fan Calibration	
Time and Date		日時の設定を行います
Monitor		ストーブの状態を確認できます
Load		燃料の手動充填の設定を行います
Language		言語設定を行います
Settings	Thermostat Management	各種システムの設定を行います
	Standby Radio	
	Test Radio	
	Code Change	
	Contrast Adjustment	
	Button tone	
System Menu		販売店専用メニュー、パラメーターの設定

Thermostats Menu

システムに接続されているサーモスタットの設定を行うメニューです

Radio Room Thermostat:リモコンで感知しているサーモスタットの温度を設定します。設定した温度は、メイン画面右側に表示され、室内温度が設定温度を超えると、システムが Modulation 状態になります。

Hot Air Menu

このメニューでは、温風ファンの調整を行います。設定値として、「OFF・1・2・3・4・5・Auto」があります。温風ファンの出力設定は、燃焼のパワーとは別で動作します。基本的には Auto で設定して使用してください。燃焼のパワーに合わせて、温風ファンの出力が自動的に変更されます。

Chrono Menu

ストーブのタイマープログラムの On/Off 切り替えを設定するメニューです。

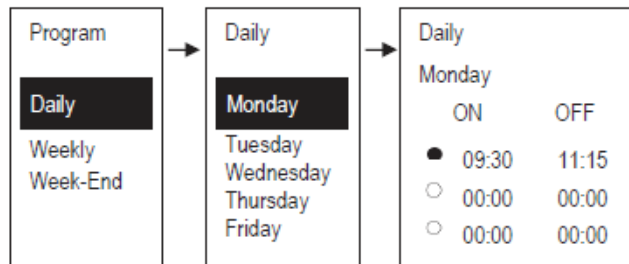
●**Modality:Chrono** を通じてシステムの On/Off の切り替えを行うために、プログラムされている On/Off タイマープログラムの後に設定を選択することが必要です。

説明	ボタン	画面
現在選択されている項目が点滅して強調表示されます		
どのタイマープログラムを使用するかを選択する	↑ ↓	
変更のキャンセルおよび変更前の設定の復元	ESC	
新しい設定を保存する	SET	
メニューへ戻る	ESC	

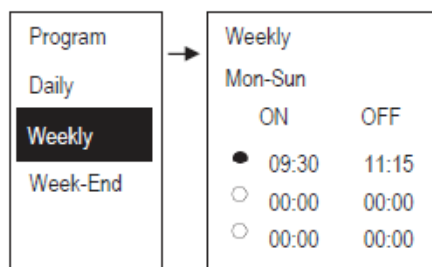
●**Chrono Program**: 設定したいプログラムを選択して下さい。

タイマープログラムをプログラムした後、ストーブのスイッチを On/Off 有効にし、サブメニューからご希望の項目を選択します。

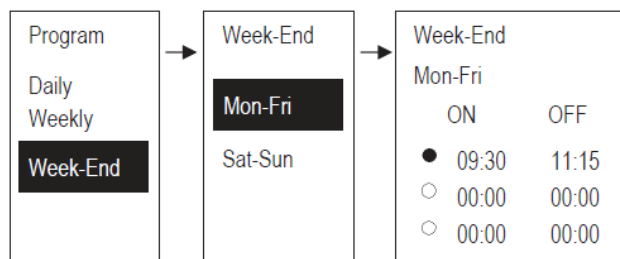
Daily: 曜日を選択し、タイマープログラムの On/Off を入力します。タイマープログラムがそれぞれ 3 つ保存されている中から、使用するタイマープログラムを選択します。



Weekly: 設定したプログラムは、1 週間ずっと作動します。



Week-End: まず、“Monday-Friday”と“Saturday-Sunday”から選択します。そして、“Monday-Friday”と“Saturday-Sunday”それぞれに 3 つ時間枠が選択できます。



3つの異なるプログラム(Daily・Weekly・Weekend)は別々に保存されています。例えば、Dailyのプログラムを修正した場合、他のプログラムには変更されません。

タイマープログラム	ボタン
設定したいプログラムを選択する	
設定したい時間を選択する	↑ ↓
編集モードに入る(時間が点滅します)	SET
時間を修正する	↑ ↓
プログラムを保存する	SET
時間枠の有効(●表示)または無効(○表示)にする	⏻
戻る	ESC

真夜中の時間のプログラム方法

タイマーが0時を跨ぐ設定の際には、まずOFFにする時間で23:59と設定した後、ONにする時間で00:00と設定して下さい。

Eco Clima Menu

機能が無効になっている場合は、室内サーモスタットの設定温度に達した際にストーブは調整モード(Modulation)になります。機能が有効になっている場合は、室内サーモスタットの設定温度に達した際に、ストーブはスタンバイモードになり消火し、室内温度が下がると再度着火します。

Calibration Menu

システムの燃焼時パラメーターを設定するメニューです。

●Auger Calibration:オーガーの動作時間を設定するメニューです。レベルが-5から5まで10段階あり、デフォルト設定値が0となっています。値を調整することで、通常・調整モードの時のペレット量が増減します。設定値はパーセンテージの増減によります。

機能	ボタン	画面
Auger Calibration が選択されている		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Auger Calibration</p> <p>Max: 5</p> <p>Set: 0</p> <p>Min: -5</p> </div>
編集モードへ入る (カーソル点滅します)	SET	
値を選択します	↑ ↓	
設定を保存します	SET	
新しい設定値を保存せずに戻る	ESC	

●**Fan Calibration**: 燃焼空気を入れるファンのスピードを設定するメニューです。レベルが-5 から 5 まで 10 段階あり、デフォルト設定値が 0 となっています。値を調整することで、通常・調整モードの時の排気ファンの回転数が増減します。全てのレベルに対して、設定値はパーセンテージの増減によります。

詳細については、COMBUSTION を参照して下さい。

機能	ボタン	画面
Auger Calibration が選択されている		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Fan Calibration</p> <p>Max: 5</p> <p>Set: 0</p> <p>Min: -5</p> </div>
編集モードへ入る(カーソル点滅します)	SET	
値を選択します	↑ ↓	
設定を保存します	SET	
新しい設定値を保存せずに戻る	ESC	

Time and Date Menu

日時の設定を行います。

機能	ボタン	画面
時間・分・日付を選択する	↑ ↓	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Time and Date</p> <p>16 : 45</p> <p>Thursday</p> <p>07/02/2013</p> </div>
編集モードへ入る(カーソル点滅します)	SET	
数値を選択します	↑ ↓	
設定を保存します	SET	
新しい設定値を保存せずに戻る	ESC	

Load Menu

オーガーの手動充填を行います。こちらの機能を使用する際には、ストープをオフにしてください。オーガーを手動で動かすと排気ファンも同じように起動します。

Monitor Menu

システムの機能およびパラメーター数値を確認できます。

画面	説明
T. Fumes	排気温度[°C]
T. Room	室内温度[°C]
T. Remote	別室の室内温度[°C]
Air Flux	空気流量[cm/s]
Exhaust Fan Speed	排気ファンスピード[RPM]
Recipe	使用者が選択した数値[nr]
Product version	製品コード(464-xx.xx)
FSYSD02000064.0.0	ファームウェアベースのバージョンおよび改訂
FSYSC02000011.0.0	リモートコントロールのバージョンおよび改訂

Language Selection Menu

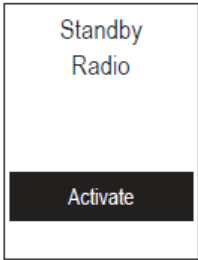
使用言語を設定します。

Setting Menu

Thermostat Management:ラジオルーム内温度機能を設定します。

サーモスタットの状態	説明
Local Active	ラジオルームサーモスタットがローカルルームサーモスタットとして設定されます
Remote Active	ラジオルームサーモスタットがローカルルームサーモスタットとして設定されます。 暖房システムが必要としている場合にのみ表示されます
Disable	このシステムでは、サーモスタットとメイン画面を使用し、サーモスタット上の全ての値と画像が消えます

Standby Radio:リモートコントロールのスタンバイ設定を行います。

説明	画面
リモコンのスリープモードを有効にするためには、SET ボタンを押します。ストーブ背面にリモコンを向けて、* ボタンを押してからO ボタンを2回押してください。機能が有効な場合、システムが接続されている部屋のセンサーを使用します。この機能は、リモートコントロールが長時間使用されていない場合に使用されます。	

Test Radio:リモコンとストーブの間に、適切な伝送が行われているかどうかを確認するメニューです。

リモコンから連続して送信を行い、全ての信号の受信・受信失敗をカウントします。

Code Change:コード変更を行うことで特定のストーブとリモコンを関連づけて、リモコン操作が可能になります。(複数の送信システムが同じ部屋にある際に動作させることが可能です)

コード変更を行うためには、

- ・コードが協調表示される

- ・コード設定:Learnメニューへ入り、SET ボタンを押す

- ・リモコンの SET ボタンを押し、設定を確認する

Contrast Adjustment:画面のコントラストを調整するメニューです。

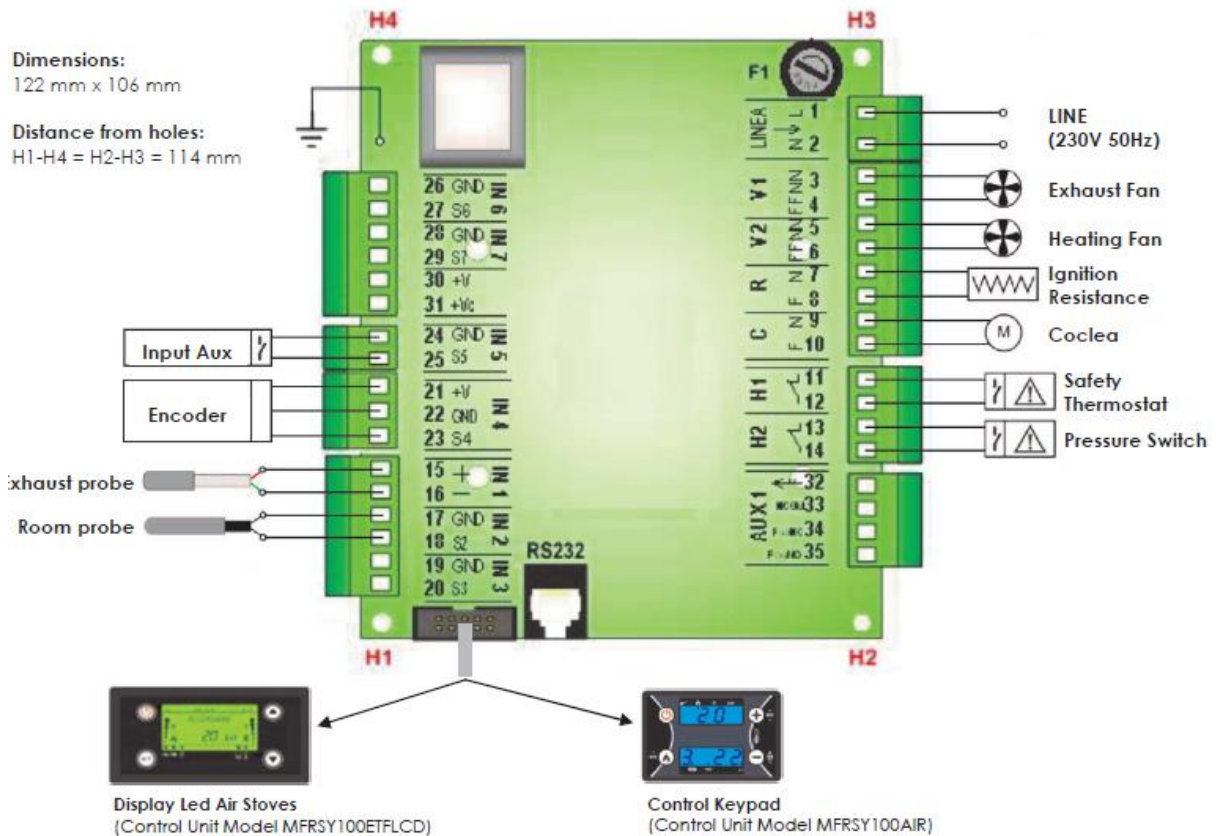
機能	ボタン	画面
コントラストのレベル調整を行う	▲ ▼	
設定を保存する	SET	
設定を保存せずに戻る	ESC	

Button tone:ボタンのプッシュ音を有効にするかどうかを設定します。

System Menu

こちらのメニューは、販売店専用となっており、アクセスのためのパスワードが設定されています。

10-コントロールユニット



PIN	機能	特徴
1-2	メイン電源供給	230Vac +- 10% 50/60 Hz F1= Fuse T 5,0 A
3-4	排気ファン	Triac Regulation 1A max
5-6	温風ファン	Triac Regulation 1A max
7-8	点火抵抗	Rele 最大 3A
9-10	オーガー	Triac Regulation 1A max
11-12	サーモスタット安全装置	通常は閉じられており、使わない場合は On/Off する
13-14	負圧センサー	通常は閉じられており、使わない場合は On/Off する
15-16	排煙温度センサー	Thermocouple K: 500 °C Max 15: Red (+) 16: Green (-)
17-18	室内温度センサー	NTC 10K @25°C 120°C Max
19-20	予備センサー	-
21-22-23	エンコーダー	Signal TTL 0/5 V 21: +5V 22: GND 23: signal
24-25	予備入力	接続 On/Off
26-27-31	使用しません	-
28-29-31	使用しません	-
CN1	ディスプレイ接続	フラットケーブル
RS232	コネクタ-RS232	プログラマー、モデム、コンピューターへの接続

11-エラー

エラー	説明	原因	操作	それでも直らない場合…
ER01	サーモスタットの安全装置が働きました。スイッチを切ってください	温風ファンの故障	ブロック解除し、ファンの機能が正常であるか確かめてください	ファンが故障している場合は、購入先の販売店へ連絡をお願いします
		サーモスタットの故障	ブロック解除し再度ストーブをつけてください。それでもすぐにエラーが出る場合は、サーモスタットまたはコントロールユニットが故障している可能性があります	エラーが出続ける場合は、購入先の販売店へ連絡をお願いします
		コントロールユニットの故障		
		ペレットタンク内の温度上昇	ブロック解除しストーブをつけてください。再度エラーが出る場合は、スイッチを切ってください	
ER02	排気管が塞がっています。スイッチを切ってください	排気管の煙道が塞がっています	排気管の煙道を掃除する必要がある場合は、ブロック解除をしてから掃除をして下さい	エラーが出続ける場合は、購入先の販売店へ連絡をお願いします
		外部から排気管へ風が侵入	ブロック解除をし、排気管の調整が必要かどうかを確認してください	
		負圧センサーの故障	ブロック解除をし、それでもすぐにエラーが出る場合は、負圧センサーまたはコントロールユニットが故障している可能性があります	
		コントロールユニットの故障		
ER03	排気温度が低いです。スイッチを切ってください	ペレットタンクが空です	ブロック解除をし、ペレットを補充してください	ペレットを補充してください
		オーガーが塞がっています	ブロック解除をし、燃焼ポットを掃除した後、再度点火してください	燃焼ポットの中にペレットが無い場合、購入先の販売店へ連絡をお願いします
		オーガーモーターの故障		購入先の販売店へ連絡をお願いします
		排気ガス温度感知の故障		
ER05	排気温度が高いです。スイッチを切ってください	排気ガス温度センサーの故障	停止段階でも煙の温度が高い場合は、温度センサーが故障している可能性があります	購入先の販売店へ連絡をお願いします
		ストーブが汚れています	ブロック解除をし、ストーブを切ってください。再度エラーが出た場合は、ストーブを掃除して下さい	
	耐震装置が作動しました(本体が揺れを感知しました)	耐震装置の故障	ブロック解除をし、ストーブを切ってください。もしエラーが再度出た場合は、配線が抜けていないか、本体が傾いていないかを確認してください	
ER07	エンコーダーエラーです。スイッチを切ってください	エンコーダーへの信号がありません	ブロック解除をし、ストーブを付けてください。再度エラーが出る場合は、排気ファンまたはコントロールユニットが故障している可能性があります	購入先の販売店へ連絡をお願いします
ER08	エンコーダーエラーです。スイッチを切ってください	エンコーダーの設定がされていません		
ER11	時刻エラー	コントロールユニットに問題があります	コントロールユニットに問題があります	購入先の販売店へ連絡をお願いします
ER12	点火失敗	ペレットタンクが空です	ブロック解除をし、ペレットを補充してください	ペレットを補充してください
		点火ヒーターの故障	ブロック解除をし、燃焼室を掃除してから再度点火してください。その後点火が成功しない場合は、点火ヒーターを交換してください	購入先の販売店へ連絡をお願いします
		燃焼室が汚れています	ブロック解除をし、燃焼室を掃除して、再度点火してください	燃焼室を掃除してください
ER15	停電のため、スイッチを切ってください	停電	電源システム・構成の一部に問題があります	購入先の販売店へ連絡をお願いします
ER44	マイクロスイッチ異常	正面またはペレットタンクの扉が120秒以上開いています	ブロック解除をし、正面およびペレットタンクの扉が正しく閉じられているか確認してください	購入先の販売店へ連絡をお願いします
PORT	オーガーが停止し、排気ファンが最大で回転しています	正面またはペレットタンクの扉が120秒以上開いています	正面およびペレットタンクの扉が正しく閉じられているか確認してください	購入先の販売店へ連絡をお願いします
Service Clean	音響アラーム	スケジュール設定機能時間の達成	ストーブメンテナンスおよび掃除を行ってください	購入先の販売店へ連絡をお願いします
Link Error	ストーブへの指示表示がありません	液晶ディスプレイとコントロールユニット間での伝達が欠如しています		購入先の販売店へ連絡をお願いします
No Signal	液晶ディスプレイとコントロールユニット間での伝達欠如	液晶ディスプレイとコントロールユニット間での伝達が欠如しています	コード変更(16ページ)を実行し、ストーブへ新しい周波数で信号を送信できるか確認して下さい	購入先の販売店へ連絡をお願いします
SOND	センサー異常	センサーに問題があります		

12-排気煙ソフトウェア

排気ファンの破損またはコントロールユニットが正常に動作していない原因によって排気ファンの回転が測定できない場合、ER07 または ER08 アラームが起動します。アラーム信号を受信した後、システムは RPM モードの代わりに Volt モードへ排気ファンを設定します。一度破損した部品を交換した後、RPM へ戻ってシステムを再設定するには、System の Exhaust Fan(排気ファン)メニューに入り、パラメーターの P25 を 2 に設定する必要があります。

P25=0 Volt の場合、 P25=1 RPM の場合

P25=2 RPM:ソフトウェアが損傷し、自動的に Volt モードになった場合

13-メンテナンス

メンテナンス手順を実行する前に、以下の注意事項がございます。

- 1)ストーブの全ての部品が冷めるまで待ってください
- 2)灰の飛び散りが落ち着くまで待ってください
- 3)スイッチが”0”(オフ)であることを確認してください
- 4)電源ケーブルが電源から抜かれていることを確認してください

以下のクリーニング手順に従ってください。

なお、モレッティ社は、人や動物、または次の指示の不遵守によって生じる損害についての責任を負いません。

ストーブ表面の掃除

塗装された金属表面は水で濡らした雑巾を使用してください

注意:洗剤や希釈剤の使用はストーブの表面を傷つけることがあります

点火前には燃焼室を掃除してください

点火前に、燃焼室に燃え残りがいないか、綺麗であるか、空気口が塞がれていないかを確認してください。これらは、ストーブの不完全燃焼および燃焼室内での燃焼事故が発生した際の過熱を防ぐために行うことです。

燃焼室に残る灰の量はペレット燃料の種類によって異なり、同じブランドの別の袋からであっても異なることがあります。ストーブの誤作動を起こさせず適切に動作するためにも、掃除は頻繁に行ってください。

燃焼室の壁

燃焼室内には防火壁が並んでおり、モレッティ社が開発したバーミキュライト系材料で、その耐熱性、軽量などより良質なものに改善しています。

燃焼が最適な場合には防火壁が明確な色となり、燃焼が最適ではない場合には防火壁が汚れる傾向があり、より暗い色となることがあります。

防火壁のメンテナンスの際には、ブラシを使用してください。研磨剤や湿った雑巾などを使用すると、防火壁が破損する恐れがあります。また、掃除機は使用しないでください。防火壁を取り外す時は取扱いに注意してください。

燃焼を長時間行った場合、防火壁の表面に若干の擦り傷ができることがあります。不良品ではございません。

ストーブを正常に動作させるためにも、定期的なクリーニングを行ってください。

メンテナンス作業は様々な項目がございますので、購入先の販売店によって毎年行ってください。

14-保証

保証条件と修理のご依頼について

- 本ペレットストーブの保証期間は、保証書ページに記載されている日付から 1年間になります。
- リンカルジャパンによる保証は日本国内の全地域が対象であり、本ペレットストーブの製造部品および欠陥品であると認められた部品の交換費用全額も含まれます。ただし、ガラスや通常お使いいただく消耗品は除きます。

保証条件

- 本製品設置から1ヶ月以内に保証書の写しを弊社住所まで郵送またはFAXにてお送り下さい。そして、お持ちの保証書を販売店にお見せください。前述条件が欠けている場合、保証はできかねます。
- お客様(購入者)が購入にあたり契約の支払方法を規定通りに行い、いかなる理由においても支払いの遅延がない場合。
- 製品異常が製造工程での欠陥によるものであり、誤った使用方法やメンテナンスの不足によるものではないことが明らかである場合。

保証対象外

- 設置時に保証書の送付が行われていない場合。保証書を所持されていない場合。また、記載された字句に書き替え、書き加えがある場合。
- 本取扱説明書の規準に記されている設置基準と一致していない。または、製品仕様一覧にある排気管サイズと違うものを使用したことが原因で起きた不具合の場合。
- 本ストーブが使用されている部屋の中で異常な環境の原因があるとき。または、大気・気候・化学・電気化学的要因による被害・損害があるとき。
- 弊社登録販売代理店以外による設置・無許可の改造・不適切な使用などによって生じた運転の不具合があるとき。
- 湿気を含んでいる燃料等、適さない燃料の使用、取扱説明書に指示されている燃料と異なる燃料を使用したとき。
- 本体の清掃、日常のお手入れ(灰の掃除)
- ガラス部分および通常の使用で消費される部品
- 落として生じた際の故障や、当社に責任のない運搬による損害。**設置する前の荷受けの段階で、本ストーブに故障等ないことを確認してください。**
- セラミック部分の色の違いや細かな寸法のわずかな誤差は、その材質の自然な特徴なので、保証請求の理由にはなりません。

リンカルジャパンは、取扱説明書に記述されている指示全てに十分に従わない場合や、誤った設置方法、本体の不正な改良、不適切な使い方、不十分なメンテナンス、乱暴な使い方、現行の規制や法令の違反などの理由で、直接的または間接的に人・物・動物に被害をもたらした場合は、その責任を負いません。弊社は取扱説明書にある本ストーブ設備の特徴を、予告なしに手直しをする権利を留保します。この取扱説明書に説明されている部品や付属品は量産品ではないため、部品代等の費用はご購入販売店にお問い合わせください。

保証に含まれる修理をご依頼される際は、保証書を提示の上ご購入先の販売店へご連絡下さい。

本製品設置から1ヶ月以内に本紙の写しを弊社住所まで郵送またはFAXにてお送り下さい。

期間内の送付が確認できない場合は保証の対象外となりますので、ご理解の程お願いいたします。

販売代理店

総輸入販売元



〒515-0104 三重県松阪市高須町 3460-125
TEL : 0598-51-3308 FAX : 0598-51-3307
HP : <http://www.lincarjapan.com>
MAIL : lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp

製造元



FACTORY - HEADQUARTER
C.da Tesino,51 San Salvatore
63065 RIPATRANSONE(AP) Marche Italy
TEL : +39 0735.90444 FAX : +39 0735.907452
info@moretticamini.it